積善

第102号
2018. 4. 吉日

C・O・N・T・E・N・T・S

■理事長・院長　巻頭のあいさつ …… 2～3
■前理事長　退任のあいさつ …… 4
■平成28年度収支計算総括表 …… 5
■平成29年度収支予算総括表 …… 6
■平成29年事業成績 …… 7
■役員選任について …… 8
■グループホーム「コスモスの風」 …… 8
■永年勤続者を表彰 …… 9
■入院患者さんの行事報告 …… 10

この広報紙は再生紙を使用しています

平成三十年の春に

前橋積善会理事長　栗木信昌

桜の季節も終わり、会員の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。この冊子がお手元に届けられる頃には、すでに初夏の気配さえ漂いはじめているかもしれませんが、天候の予測は、AI（人工知能）の普及が話題になる昨今でも、なかなかままならぬようではあります。

本年は、そのはじめの三ヶ月だけでも、平昌オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍、文書改竄問題をめぐる国会の応酬、前橋の街が例年にない積雪に見舞われたことなど、様々な印象深い出来事に彩られました。個人的に忘れがたい出来事を体験された方も、少なくないことでしょう。

桜の季節は駆け足で過ぎ去り、はや葉桜の季節となりましたが、会員の皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年度中は新棟、オーダリングシステム、グループホームといった様々な新しいツールが当院にも導入され、当初は慣れぬが故に戸惑うことも多かったように思いますが、大勢の皆様方の多大なご協力もあってどうにか無事使いこなせるようになり、ようやくその恩恵を実感できるようになってきているように思います。ご協力、誠にありがとうございました。

まだお気づきでない皆さんも大勢いらっしゃるのではないかと思いますが、実は四月の年度開始と同時に、もう一つの新しいツールが新館ロビーの一角で予定より一年も遅れてひっそりとスタートしています。「前橋積善会・厩橋病院歴史展示コーナー」です。歴史展示コーナーがなんでツールなのかと思われる方もいらっしゃると思いますが、前橋積善会の百三十八年間の歴史は、私たちにとって真にかけがえのない資産・資源であり、われわれ会員のみならず、ここを利用されている患者さん達の心に訴えかける内容を持っているからです。あいにく過去の物があまり残されていないため、いきおい文字の多い展示となってしまいましたが、明治十三年の発足から現在に至るまでの前橋積善会の流れが概観できるようにしてあります。毎年、新入職員の研修の一環として前橋積善会お

四月は、学校でも職場でも新年度のスタートの季節です。「新しい年のはじまり」として、気分を一新する機会でもあります。この四月は、また、「平成」最後の一年のはじまりのときでもあります。平成の三十年は、まさに波乱の三十年でもありました。平成改元の頃、日本はまさにバブル経済のただ中にあり、東西冷戦も終結し、多くの人々が豊かで平和な二十一世紀の到来を期待していました。しかし、歴史の予測も天候以上に難しいものです。実際には、湾岸戦争、阪神淡路大震災とオウム事件、アメリカ同時多発テロとアフガン・イラク戦争、さらにリーマンショック、中東状勢の不安定化、そして東日本大震災と続き、いまもなお世界は紛争と難民、貧困と飢餓に苦しみ続けています。

このような世界を前にすると、個人の力はあまりに小さく、そして弱いようにも思われます。しかし、苦しみの中にいる人もまた、一人ひとり顔と名前を持つ個人にほかなりません。そして、国や故郷を追われた人々、差別や病に苦しむ人々が、一様に訴えるのは、自分が他者に必要とされていないのではないかという不安、そして、世界から無視され、いなかったことにされるという恐怖であるといいます。それはまた、遠く離れた国や地域だけでなく、身近な場所、もしかすると家族や学校の中でも生まれる想いなのかもしれません。

「もしも世界の終わりが明日だとしても、私は今日林檎の種をまくだろう」……劇作家の寺山修司がゲオルグ・ゲオルギウの言葉として紹介し、広く知られるようになった一節です。道元禅師の「而今（にこん）」、すなわち「今このときに自分ができることをする」という言葉にも通じるものでしょう。

小さく微弱な個人の力でまずできること。それは、知ること、感じること、そして考えることです。ほかならぬ「善を積む」ことは、そこからはじまるはずです。

平成の三十年間は、積善会をとりまく状況も、なかなか厳しいものでした。そんな中、会員一人ひとりの皆様のご努力、ご協力によって、積善会も確実に活動の充実を図ることができました。前橋東看護学校、精神科デイケアセンター「あしたば」、厩橋病院精神療養病棟、医療福祉相談室、そして厩橋病院西棟の完成に続き、昨年度はグループホーム「コスモスの風」を開設することができました。それらはまさに、「一人ひとりが今できること」の積み重ねによって実現したものです。

会員の皆様の想いがどのようなかたちで結実しているかをあらためて感じていただくためにも、ぜひ一度、美しい環境に整備された江木町の諸施設まで足をお運びください。

よび厩橋病院の歴史についての講義が行われていますが、それとは内容を若干変えてありますので、講義を聞いたことのある方も無い方も、お時間のあるときに是非一度ご覧になって頂ければと思います。展示を通して、私たちからはとうに失われてしまった明治の人たちの純朴としか言いようのないまっすぐな気持ちに思いを馳せて頂けるようであれば、このコーナーを作った苦労が報われますので、何卒よろしくお願いいたします。

尚、完成のために多大なお力添えをいただきました医局の吉原先生と石倉さんには本当に感謝しています。お二人のご尽力がなければ決して成し遂げられなかったプロジェクトです。この紙面を借りて改めてお礼を申し上げます。

積善会の歴史に関する話題をもう一つ。実は、昨年は展示パネルの原稿作りなどがあり、明治時代の積善会にかなりどっぷりの状況が続いたのですが、そのおかげで長年解けずにずっと気になっていた疑問の答えを見つけることが出来ました。

積善会の創始者である遠藤海象は明治三十五年に「第一無縁亡霊千人合祀之塔（むえんぼうれいせんにんごうしのとう）」を橋林寺（積善会の創立メンバーの一人である増田嘿童（もくどう）の寺で、明治期の積善会本部が置かれていたこともある）の境内に建てたのですが、その事実はどこにも記載されていなかったため、その存在自体、十年程前にたまたまこの塔が発見されるまでは誰にも知られておりませんでした。ご存じの方も多いと思いますが、五年前に嶺霊園内に建てられた積善会の助葬制度用納骨堂は、遠藤海象の建てたこの塔に因んで「無縁精霊合祀塔（むえんしようれいごうしとう）」と名付けられています。更に、助葬制度そのものも、この第一無縁亡霊千人合祀之塔から着想を得て発案されたもので、この塔はいわば現在の前橋積善会と明治時代の積善会を繋ぐかすがいとも言うべき重要な存在であると考えています。だいぶ脱線してしまいましたが、疑問は、この無縁亡霊千人合祀之塔に刻まれた「第一」という文言でした。第一とあるからには第二、第三があるのではないか？少なくとも、わざわざ第一と書いたからには、第一を作る時点で第二、第三を作る予定があったに違いない。果たしてそのような塔は存在するのか？存在するのなら一体どこにあるのか？もちろん一番可能性があるのは橋林寺なので、境内を丹念に探し回ったのですが、そのようなものは見つかりませんでした。他に探すべき宛てもなく、疑問はこの十年間宙ぶらりんのまま残されていたわけです。

この疑問が昨年末にひょんな事から解けましたので、この紙面を借りてご報告申し上げます。そもそものきっかけは、昨年の十一月でした。遠藤海象の書いた古い書物（明治四十二年）を発見したのです。上にも記しましたように、明治時代の積善会の歴史にどっぷりの状況が続いていたため、久しぶりに「遠藤海象」をキーワードにネットで検索をかけたところ、遠藤の著した「瓢鮠漫筆（ひょうねんまんぴつ）」なる本があることが判明したのです。これまでの同様の検索でヒットしなかったものが、なんでその時になって初めてヒットしたのか不思議なのですが、とにかくヒットしました。これまでその存在すら知られていなかった書物なのですが、それがたまたま運良く見つかり、しかも現物を入手することもできました。そして、疑問の答えはその本の序文に書いてありました。ちょっと長いのですが、原文をそのまま抜粋します。

生死は人の影日なた、生有る者に限らずに、ぬかずきて死者にもつくさばや、老後の楽しみ無縁を集め、朝晩供養したならば、さぞや歓ぶことならん、亡霊養育院長と、自選肩書き自称して、無縁の仏はいうまでも、首くびるやら行き倒れ、井戸や川にて身を捨てし、非業な最期を致したる、仏をここより譲り受け、千人あまり有る故に、千人塚を前橋の、橋林寺中に建立し、第二は千住の回向院、小塚原にしかばねを、さらせし哀れな諸仏を、まとめて地蔵を設立し、第三は愛宕下、青松寺内に新築し……

（漢字等の表記は現代風にしてあります）

要するに、第一の千人塚を前橋の橋林寺に建立したあと、第二の千人塚を地蔵の形で東京千住の回向院に設立し、更に第三の千人塚を東京愛宕下の青松寺に新築した、ということです。

〝百十二年目の出会い〟
発見された第三の千人塚「無縁亡霊塔」（明治三十九年建立）に手を合わせる栗木理事長と瀧澤前理事長。本年一月九日、東京愛宕の青松寺にて。

新年度冒頭のご挨拶

院長　天谷太郎

第二、第三は、やはりあったのです。では、果たして今も現存しているのか？当然のことながら、これが次の疑問でした。というわけで、昨年十二月、過ぎ去りし明治の残影を求めて、東京への探査行を敢行しました。そして、結論から言ってしまえば、見つけました！少なくとも第三に関しては、台座に遠藤海象の名前も刻まれており、百％確実です。第二の方は、千人塚と刻まれた台座の上にお地蔵さんが乗っているものは見つけ、上の遠藤の記載と一致はするのですが、風化が進んでおり遠藤海象の名前を読み取ることはできませんでしたので、確定はできませんでした。

歴史展示コーナーのパネルにこの発見を写真の形で反映できれば良かったのですが、残念ながら間に合いませんでしたので、ここに本物であることが確定できた青松寺の千人塚の写真を掲載しておきます。尚、二年後の二千二十年は、前橋積善会創立百四十年の年となります。昭和五十五年に出された「前橋積善会百年史」を凌駕するような「百四十年史」を出すべく、現在栗木理事長以下数名で県立文書館に出向くなどして、新資料の発掘に鋭意取り組んでおります。その結果、上に記したような新発見の他にもいろいろと興味深い新事実がすでに判明してきておりますので、二年後の「百四十年史」には、乞うご期待です。

ご挨拶というよりは、報告文になってしまいましたが、本年もどうか何卒よろしくお願い申し上げます。

退任のごあいさつ

前橋積善会前理事長　瀧澤現秀

例年になく厳しい寒さの年明けから、いつの間にか春の気配が漂うころとなりました。会員の皆様にはご健勝にて日々お過ごしの事と拝察致します。旧年中は本会の諸事業にご理解とご協力をいただき誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

昨年の六月末をもちまして理事長の職を辞任させていただいてから既に八ヶ月を経過いたしましたが、日常の忙しさは変わることなく寺内外の仕事に追われる日々をすごしております。

思えば平成二十二年七月、木村前理事長の突然のご逝去により、あわただしく理事長に就任、皆様のご支援によって三期半七年の任期をつつがなく全うさせていただきました。在任中賜りました皆様のご厚情とご支援は、数々の思い出と共に一生心に残る尊い宝物となるでしょう。

特に、本会の悲願であった公益社団法人の認可が実現し、助葬事業の開始に向け無縁精霊合祀墓地・霊安室の整備、新病棟・グループホームの建設によって、敷地内の景観も面目を一新いたしました。前橋積善会が大きく羽ばたこうとしているこの時代に、皆様と共にそのかじ取りをさせていただくことができましたことは誠に感謝に堪えません。

退任までの七年間、通勤は主として自転車で六キロほどの道のりを往復しておりましたが、安全のため途中から朝は上電を利用することになりました。寿回数券は十二枚つづりで二枚分お得になっていて、ローカル鉄道七駅で十四分の旅を、一〇〇〇回以上楽しんだことになります。赤城をはじめとする上州の山々、遠くは八ヶ岳・浅間・草津白根・谷川連峰の眺望、沿線の四季折々移り行く景観はなかなか見ごたえのあるものでした。

上毛電気鉄道は九十年以上の歴史を持ち、赤城南面の移動には欠かせない県民の大切な足でしたが、時代の変化と共に利用者は激減、沿線自治体からの助成金でようやく息をついている状態です。終戦後の昭和三十年頃、小学校高学年になると夏休みの行動範囲が広がり、南は高崎、東は大胡・江木へと足をのばしました。特に上泉駅に隣接していた「竹の花プール」は、電車の切符が入場券になっていて、無料で利用することができ、小学生には格好の遊び場でした。プールと言っても桃の木川の水を引き込んだだけで、大した消毒もせず、時々雑草のかたまりや人間の排せつ物なども流れ込んでくるような野性的な雰囲気に包まれた場所でした。泳ぎ疲れて持参の握り飯を食べ終わると、悪友と江木方面に遠征です。田んぼでタニシをとり、雑木林で昆虫探し、夢中で遊んでいるうちに帰りの電車賃がないことに気が付き、慌てて「うまやばし病院」の事務所に行き、当時勤務していた父を探して資金援助をしてもらったのも、はずかしながら懐かしい思い出です。

さて未来に目を向けると、明治十三（一八八〇）年に発足した前橋積善会は二〇三〇年には百五十歳の大きな節目を迎えますが、多くの先哲が守ってこられた「慈悲善隣」の旗印を高く掲げて、着実に前進していただきたいと思っております。

栗木新理事長はじめ役員・職員の皆様の益々のご活躍と積善会諸事業のご発展を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

至心合掌

公益社団法人　前橋積善会

平成28年度収支計算総括表

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）　　（単位：円）

科目＼事業				厩橋病院公益事業（無料低額診療事業助葬事業）	厩橋病院収益事業	前橋東看護学校事業	訪問看護ステーション事業	相談支援事業	グループホーム事業	前橋積善会本部会計	合計	備考
収入の部	事業活動収入		受取会費							880,000	880,000	
		事業収入	入院収入	1,736,722,637							1,736,722,637	
			外来収入	106,095,038							106,095,038	
			学生納付金収入			73,555,000					73,555,000	入学金・授業料等
			その他の事業収入	7,247,260	2,839,500						10,086,760	公衆衛生事業・保険外雑収入
			利用料収入				20,003,436				20,003,436	
			サービス利用支援費収入					4,523,335			4,523,335	
		受取補助金	国庫補助金	381,892							381,892	
			群馬県補助金			18,317,000					18,317,000	
			前橋市補助金			7,391,600					7,391,600	
			前橋市委託料					5,890,000			5,890,000	
		受取寄付金								260,000	260,000	寄付者名称・氏名 小作卓郎・田嶋章・立川克美
		雑収入		8,848,303	51,408,613	655,911	2,937,374	31			63,850,232	看護学生奨学金返還・雑収入他
		他会計からの繰入金				21,416,580	13,763,624	4,147,929	13,596,044		52,924,177	
		事業活動収入計		1,859,295,130	54,248,113	121,336,091	36,704,434	14,561,295	13,596,044	1,140,000	2,100,881,107	
	投資活動収入	退職給付引当資産取崩収入		43,473,837							43,473,837	
		新病棟建設資産取崩収入		180,250,000							180,250,000	
		修繕積立金取崩収入										
		投資活動収入計		223,723,837							223,723,837	
	財務活動収入	長期借入金		1,750,000,000					80,000,000		1,830,000,000	
		財務活動収入計		1,750,000,000					80,000,000		1,830,000,000	
	収入合計（A）			3,833,018,967	54,248,113	121,336,091	36,704,434	14,561,295	93,596,044	1,140,000	4,154,604,944	
支出の部	事業活動支出	事業原価	材料費	237,924,881			8,424				237,933,305	薬品・給食・作業材料等
			材料費（教材費・実習費等）			5,599,103					5,599,103	生徒用教材・実習費等
		人件費支出	給与手当支出	973,490,345		59,053,715	23,113,745	9,595,966			1,065,253,771	
			講師手当支出			11,189,000					11,189,000	
			賞与支出	198,448,569		16,399,832	5,262,042	2,631,930			222,742,373	1,539,417,080
			退職給付支出	43,473,837							43,473,837	人件費率73.27%
			法定福利・福利厚生費支出	178,677,870		11,916,119	4,276,689	1,887,421			196,758,099	
		その他の事業費	無料低額診療事業費	6,917,270	1,156,525		3,052,680				11,126,475	
			助葬事業費	1,231,800							1,231,800	
			支払利息	9,497,562							9,497,562	群馬銀行
			その他の事業費	294,630,889		15,621,366	990,854	445,978	1,547,852		313,236,939	一般経費
		管理費支出								17,931,390	17,931,390	役員報酬・会議費他
		他会計への繰出金								52,924,177	52,924,177	
		事業活動支出計		1,944,293,023	1,156,525	119,779,135	36,704,434	14,561,295	1,547,852	70,855,567	2,188,897,831	
	投資活動支出	退職給付引当資産取得支出		22,500,000		1,556,956					22,500,000	
		新病棟建設資産取得支出		53,411,465							53,411,465	新病棟建設費用
		固定資産取得支出		1,744,869,662		1,557,170			92,048,192		1,838,475,024	建物・車両・什器備品等
		投資活動支出計		1,820,781,127		1,557,170			92,048,192		1,914,386,489	
	財務活動支出	長期借入金返済支出		28,800,000							28,800,000	群馬銀行
		財務活動支出計		28,800,000							28,800,000	
	支出合計（B）			3,793,874,150	1,156,525	121,336,305	36,704,434	14,561,295	93,596,044	70,855,567	4,132,084,320	
当期収支差額（A－B）				39,144,817	53,091,588	▲214				▲69,715,567	22,520,624	

平成29年事業成績

(1) 患者取扱数（平成29年１月～平成29年12月）

（単位：人）

	前年末在院患者数	入院患者数	退院患者数	年末在院数(12月31日)	延べ入院患者数	１日平均入院患者数	延べ外来患者数	１日平均外来患者数
精神科	312	114	134	292	109,476	300.0	18,921	64.6
内科							441	1.4
計	312	114	134	292	109,476	300.0	19,332	66.0

(2) 取扱別入院患者数（平成29年12月31日現在）

（単位：人）

	性別	生活保護法	国民健康保険	健保・共済	後期高齢者医療	合計
精神科	男性	15	103	7	46	171
	女性	8	67	8	38	121
	計	23	170	15	84	292

(3) 会員数（平成29年12月31日現在）

（単位：人）

	前年末会員数	入会数	退会数	年末会員数(12月31日)
正会員	152	4	10	146
賛助会員	420	27	39	408
合計	572	31	49	554

(4) 従業員数（平成29年12月31日現在）

（単位：人）

職種／事業所	医師 常勤	医師 非常勤	専任教員	看護師	准看護師	看護助手	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	精神保健福祉士	作業療法士	心理士	管理栄養士	栄養士	調理師	ボイラー技士	事務員	世話人	その他職員	合計
厩橋病院	7	11		104	19	39	5	2	1	8	10	1	2	4	11	2	15		3	244
前橋東看護学校			10														3		2	15
訪問看護ステーションゆずりは				5																5
相談支援事業所ゆりのき										2										2
グループホームコスモスの風																		4		4
合計	7	11	10	109	19	39	5	2	1	10	10	1	2	4	11	2	18	4	5	270

役員選任について

公益社団法人前橋積善会理事の任期（一期二年）が、昨年六月二十八日を以て満了となりました。同日開催の社員総会で選任された新役員は左記のとおりです。

また、新役員が選任されたことにより総会直後に臨時理事会を開催し、理事長、専務理事を互選いたしました。

なお、監事は一期四年の任期ですが、辞任の申し出により一名の方が交代となりました。

公益社団法人前橋積善会役員名簿

（敬称略・順不同）　平成29年６月28日現在

理事長	栗木　信昌	（新任）	曹洞宗長昌寺
専務理事	小作　卓潤	（再任）	前・積善会事務局長
理　事	鈴村　浩文	（再任）	曹洞宗孝顕寺
〃	小林　玄順	（新任）	天台宗極楽寺
〃	蓮池　広尚	（新任）	浄土宗大慶院
〃	天谷　太郎	（再任）	厩橋病院長
〃	赤石　隆一	（再任）	（有）赤石代表取締役
〃	田鍋　章	（再任）	前・前橋あそか会常務理事
〃	角張　智之	（再任）	（社福）前橋至道会理事長
〃	天宮　豊	（再任）	元・前橋市議会事務局
〃	舩津　信子	（再任）	前橋東看護学校長
〃	佐伯　一	（新任）	(株)上毛資源代表取締役
監　事	赤石　政美	（留任）	団体役員
〃	豊国　悦雄	（留任）	曹洞宗長善寺
〃	眞塩　浩一	（新任）	富士情報通信(株)代表取締役社長

新しい事業が始まりました

グループホーム「コスモスの風」

グループホームとは、単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方。一定の介護が必要であるが、施設ではなく、地域の中で暮らしたい方。施設を退所して、地域生活へ移行したいがいきなりの単身生活には不安がある方。などで、加えて数人で共同の生活を送ることに支障がない方が利用する場所です。

支援内容は、介護を要しない方に対し、家事等の日常生活上の支援を提供します。また、日常生活上の相談支援や日中活動の利用を支援するため、就労移行支援事業所等の関係機関との連絡調整も実施します。

役員選任について

公益社団法人前橋積善会理事の任期（一期二年）が、昨年六月二十八日を以て満了となりました。同日開催の社員総会で選任された新役員は左記のとおりです。

また、新役員が選任されたことにより総会直後に臨時理事会を開催し、理事長、専務理事を互選いたしました。

なお、監事は一期四年の任期ですが、辞任の申し出により一名の方が交代となりました。

公益社団法人前橋積善会役員名簿

（敬称略・順不同）　平成29年６月28日現在

理事長	栗木　信昌	（新任）	曹洞宗長昌寺
専務理事	小作　卓潤	（再任）	前・積善会事務局長
理　事	鈴村　浩文	（再任）	曹洞宗孝顕寺
〃	小林　玄順	（新任）	天台宗極楽寺
〃	蓮池　広尚	（新任）	浄土宗大慶院
〃	天谷　太郎	（再任）	厩橋病院長
〃	赤石　隆一	（再任）	（有）赤石代表取締役
〃	田鍋　章	（再任）	前・前橋あそか会常務理事
〃	角張　智之	（再任）	（社福）前橋至道会理事長
〃	天宮　豊	（再任）	元・前橋市議会事務局
〃	舩津　信子	（再任）	前橋東看護学校長
〃	佐伯　一	（新任）	(株)上毛資源代表取締役
監　事	赤石　政美	（留任）	団体役員
〃	豊国　悦雄	（留任）	曹洞宗長善寺
〃	眞塩　浩一	（新任）	富士情報通信(株)代表取締役社長

新しい事業が始まりました

グループホーム「コスモスの風」

グループホームとは、単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方。一定の介護が必要であるが、施設ではなく、地域の中で暮らしたい方。施設を退所して、地域生活へ移行したいがいきなりの単身生活には不安がある方。などで、加えて数人で共同の生活を送ることに支障がない方が利用する場所です。

支援内容は、介護を要しない方に対し、家事等の日常生活上の支援を提供します。また、日常生活上の相談支援や日中活動の利用を支援するため、就労移行支援事業所等の関係機関との連絡調整も実施します。

永年勤続者を表彰

本会創立記念式挙行

積善会を支えた22名を讃え

本会百三十七周年記念式典は秋晴の十一月六日、関係各位のご臨席を賜り、講堂において挙行いたしました。

最初に本会関係物故者の追悼法要を、寺院役員のご奉仕により執り行いました。

引き続き、職員永年勤続表彰、理事長式辞、被表彰者を代表して榊原智幸さんの答辞の後、記念撮影を行い、式典を終了しました。

平成29年　被表彰者名簿（敬称略）

氏　名	勤続年数	拝命年月日	所　属
榊原　智幸	30年８ヶ月	昭和62年４月１日	看護部
新藤　清治	30年８ヶ月	昭和62年４月１日	看護部
金井　美幸	22年８ヶ月	平成７年４月１日	前橋東看護学校
山崎千恵美	20年10ヶ月	平成９年２月１日	看護部
佐藤　朋公	20年８ヶ月	平成９年３月26日	看護部
塩野　和弘	20年８ヶ月	平成９年４月１日	薬局
石井　聖司	20年８ヶ月	平成９年４月１日	看護部
髙橋　昭一	20年８ヶ月	平成９年４月１日	栄養部
河内　貴博	20年７ヶ月	平成９年５月１日	看護部
金子智恵美	11年８ヶ月	平成18年４月１日	看護部
真坂　隆寛	10年９ヶ月	平成19年２月13日	看護部
熊野　大志	10年８ヶ月	平成19年４月１日	医局
椛沢　宗克	10年８ヶ月	平成19年４月１日	事務部
田中　章一	10年８ヶ月	平成19年４月１日	看護部
福富　伸広	10年８ヶ月	平成19年４月１日	看護部
塩生　　誠	10年８ヶ月	平成19年４月１日	看護部
桐生ゆかり	10年８ヶ月	平成19年４月１日	栄養部
井口　直人	10年８ヶ月	平成19年４月１日	栄養部
染谷　光輝	10年８ヶ月	平成19年４月１日	栄養部
岩本　政恵	10年８ヶ月	平成19年４月１日	看護部
江原　直子	10年７ヶ月	平成19年４月10日	看護部
土屋　直樹	10年３ヶ月	平成19年９月１日	看護部

入院患者さんの行事報告（平成29年1月～12月）

【2月】
2月7日　西2病棟　節分会

【3月】
3月3日　東4病棟　ひなまつり会
3月10日　東1病棟　ひなまつり会
3月30日　東3病棟　ボーリングゲーム大会

【4月】
4月4日　西2病棟　花見会
4月6日　東2病棟　花見会
4月7日　東4病棟　花見会
4月12日　西3病棟　花見会
4月13日　東3病棟　花見会
4月14日　東1病棟　花見会

【6月】
6月7・8日　清風展

【7月】
7月6日　東2病棟　七夕会
7月7日　東1病棟　七夕会
7月7日　東4病棟　七夕会
7月11日　西2病棟　七夕会
7月13日　東3病棟　七夕会

【8月】
8月25日　東4病棟　暑気払い会

【9月】
9月13日　西3病棟　月見会
9月15日　東1病棟　月見会
9月26日　西2病棟　月見会

【11月】
11月8・9日　清風展

【12月】
12月13日　西3病棟　クリスマス会
12月14日　東3病棟　クリスマス会
12月15日　東1病棟　クリスマス会
12月19日　西2病棟　クリスマス会
12月21日　東2病棟　クリスマス会
12月22日　東4病棟　クリスマス会

〒371-0002　群馬県前橋市江木町1241番地　☎027-269-2530(代表)　FAX.027-269-4169